

## 粗製海水塩化マグネシウム

英名 : Crude Magnesium Chloride (Sea Water)

CAS No. 7786-30-3

JECFA No. 該当なし

別名 : 該当なし

構造式 : Cl-Mg-Cl

### 1. 基原・製法

海水から塩化カリウム及び塩化ナトリウムを析出分離して得られた、塩化マグネシウムを主成分とするものである。

### 2. 主な用途

製造用剤

### 3. 安全性試験の概要

#### 1) 急性毒性試験

経口投与の情報なし

#### 2) 反復投与毒性試験

反復投与毒性に関する情報なし

#### 3) 変異原性試験

Ames 試験、染色体異常試験及び *in vivo* 小核試験が実施されており、すべて陰性と報告されている。

Ames 試験 : 陰性 ; 5,000 µg/plate <sup>1)</sup>

染色体異常試験 : 陰性 ; 5,000 µg/mL <sup>1)</sup>

小核試験 : 2,000 mg/kg 体重 <sup>1)</sup>

#### 4) その他

毒性が懸念される報告はない。

#### 5) 海外評価書における扱い

JECFA では粗製海水塩化マグネシウムの主成分である塩化マグネシウムについては、塩酸並びにその塩類のグループ ADI に含まれる<sup>2)</sup>。塩酸については、食品への添加用途では毒性影響は示さないとして、「制限しない (Not limited)」と評価されている<sup>3)</sup>。

#### 4. 結論

本既存添加物は、日本国内で流通しているものについては、安全性に懸念はないと考えられる。

#### 5. 参考資料

- 1) 財団法人食品薬品安全センター:平成 14 年度既存添加物に関する遺伝毒性調査(2003)
- 2) JECFA: Evaluation of certain food additives, Twenty-third Report of the Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives.(1980) WHO Food Additives Series No. 14, TRS 648
- 3) JECFA: Evaluation of certain food additives, Nine Report of the Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives.(1965) WHO Food Additives Series 67.29, TRS 339